

CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点) × ナレッジキャピタル
正しく学ぶ！感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座 season2

第6回

COVID-19 感染流行で見えてきた
日本の感染対策の効果

池田 陽一 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 教授

佐々木 健志 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授(常勤)

中野 貴志 氏 大阪大学核物理研究センター センター長、大阪大学感染症総合教育研究拠点 教授(兼任)

申込不要

2022年9月30日(金) 19:00 ~ 20:00

YouTube Live 無料配信

正しく学ぶ！感染症から「いのち」と「暮らし」を守る講座とは

当講座は、新型コロナウイルスを始めとする感染症の脅威から人々の「いのち」と「暮らし」を守るために、科学的根拠に基づいた感染症対策やリスク、ワクチンの開発状況に加えて、感染禍が人々の行動に与えた影響の分析などの幅広い話題について、大阪大学のさまざまな分野の研究者が、中学生から大人までを対象にわかりやすく解説する全12回のオンラインプログラムです。

講座概要

COVID-19の流行は、コロナウイルスが変異を繰り返すことで、これまでに7つもの波を数えました。この間、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による人々の行動制限、ワクチン接種などにより感染拡大を抑え込もうとしてきました。これまでの対策の中で、効果があったものは何で、効果がなかったものは何でしょうか？感染対策の評価は、今後の感染流行に備える上で重要となります。本講義では、何も対策しない場合にどのような感染流行が考えられたのか議論し、それに基づき、これまでに取られた施策の評価を行います。

講師



池田 陽一 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 教授

博士(理学)。大阪大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了。東京大学、日本学術振興会特別研究員(東京工業大学)、理化学研究所で博士研究員を務め、大阪大学核物理研究センター特任助教、九州大学理学研究院准教授を経て、2022年度より現職。専門は原子核理論で、素粒子クォークの複合体の物性に興味を持つ。また、ヒトからヒトへの感染に適用できる感染症数理モデル「リンク切れモデル」を提案し、感染症流行メカニズムの解明を目指す。



佐々木 健志 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 特任准教授(常勤)

博士(理学)。東京工業大学基礎物理学研究科物理学専攻博士課程修了。日本学術振興会特別研究員(高エネルギー加速器研究機構)、バレンシア大学素粒子物理学研究所、筑波大学計算科学研究センター等で博士研究員を務め、京都大学基礎物理学研究所特任助教を経て、2021年より現職。感染症状況の分析における機械学習の導入、多抗原感染症の感染指標の開発を目指す。



中野 貴志 氏 大阪大学核物理研究センター センター長、大阪大学感染症総合教育研究拠点 教授(兼任)

博士(理学)。大阪大学核物理研究センター教授、2013年からセンター長を務める。専門は原子核物理学だが、難治性がんの新たな治療法として期待が集まるアルファ線核医学治療の開発等の産学連携による異分野融合研究にも取り組む。新型コロナウイルス感染者数の変化率をリアルタイムで把握するための新たな指標としてK値を提案した。2021年度より大阪大学感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門長を務める。



過去の講座はアーカイブで視聴できます。

<https://www.cider.osaka-u.ac.jp/project/project01.html>

9月30日オンライン (YouTube Live) 参加はこちら

<https://kc-i.jp/activity/chogakko/cider2022/detail20220930.php>主催
助成CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)、一般社団法人ナレッジキャピタル
日本財団

問い合わせ

大阪大学感染症総合教育研究拠点 事務局(総務担当)

☎ 06-6879-4903

✉ kansensyo-soumu@office.osaka-u.ac.jp

🌐 <https://www.cider.osaka-u.ac.jp/index.html>